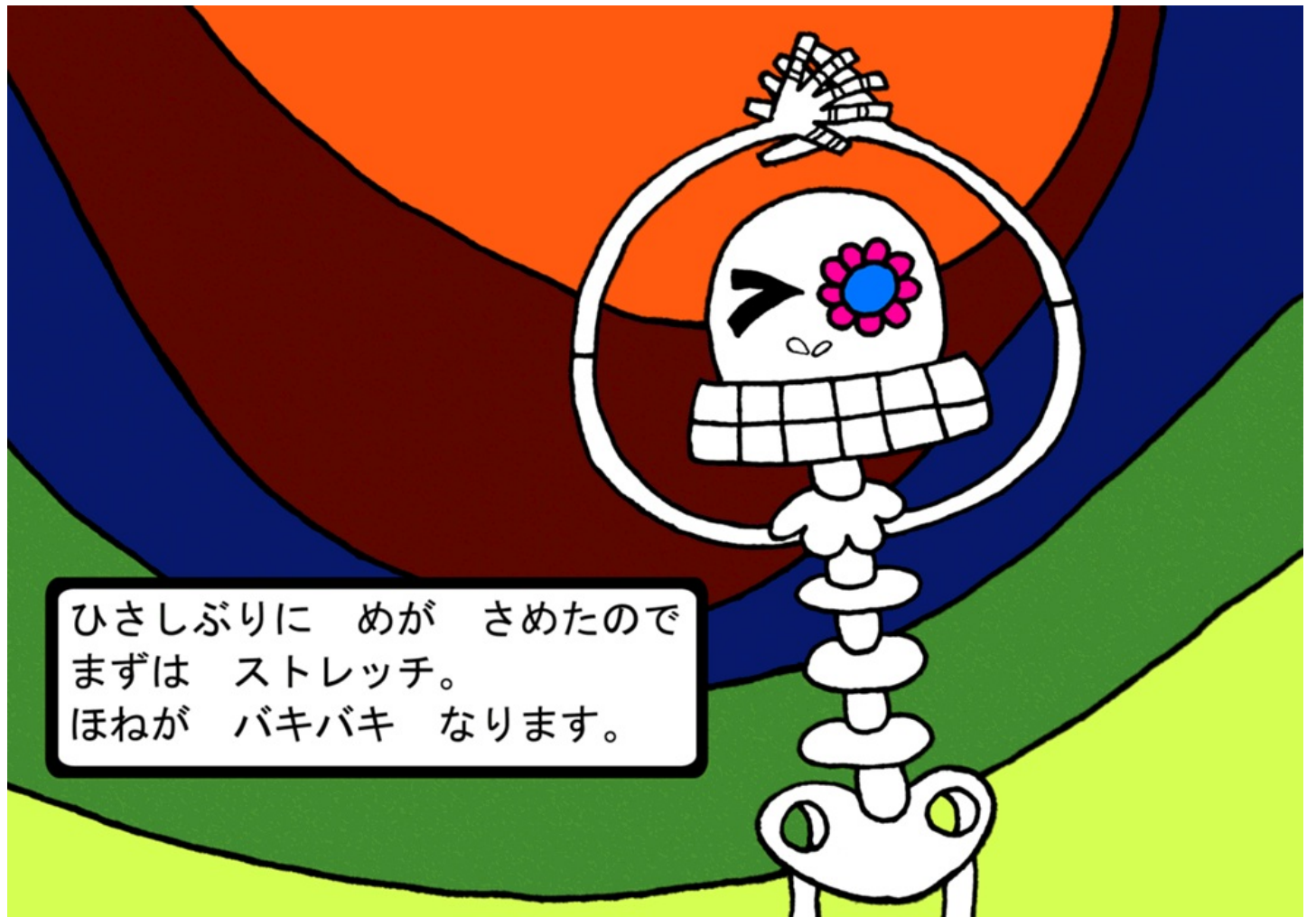






ここは コツコツやまの ふもとの
がいこつべらの いえ。

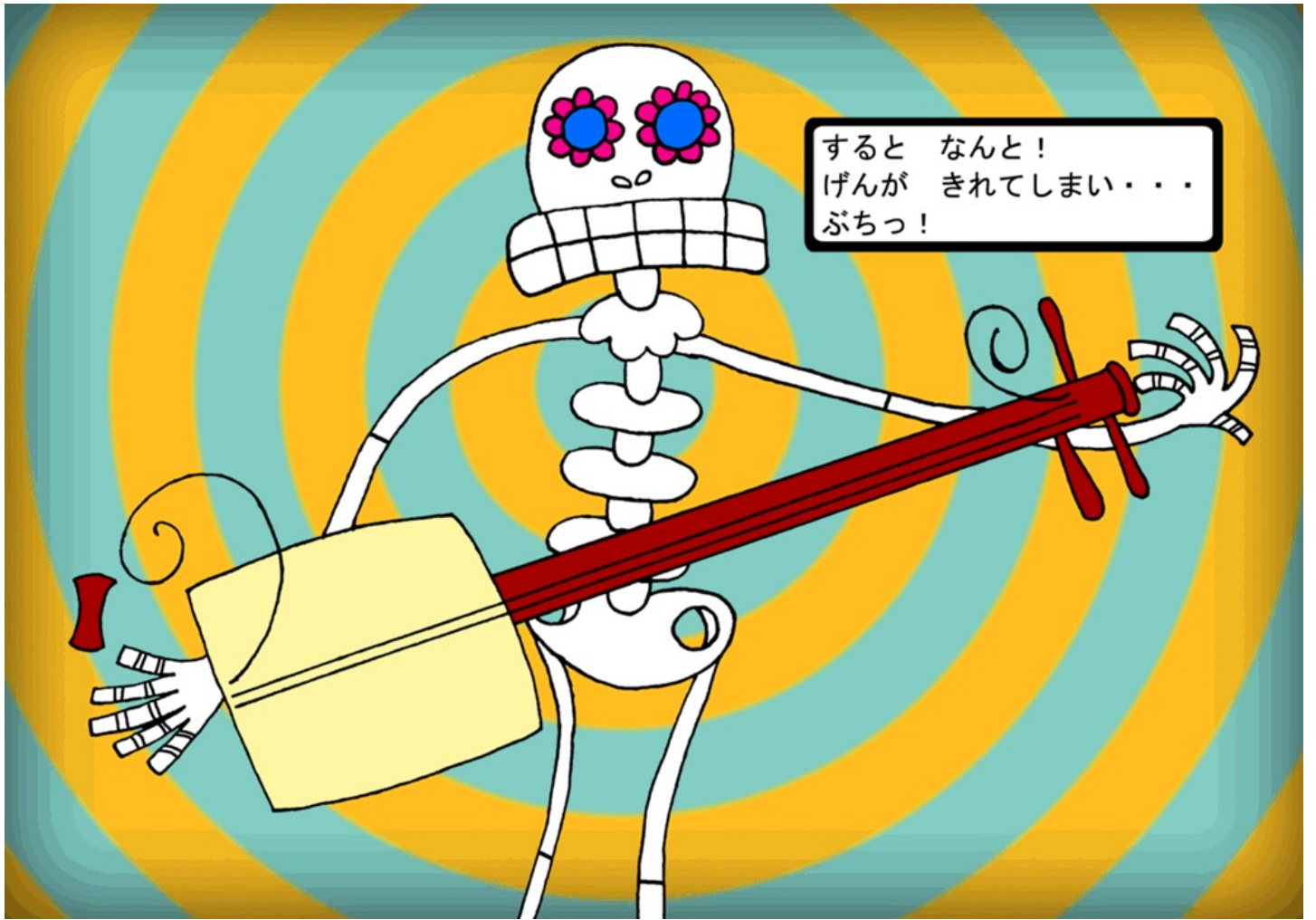


ひさしぶりに めが さめたので
まずは ストレッチ。
ほねが バキバキ なります。

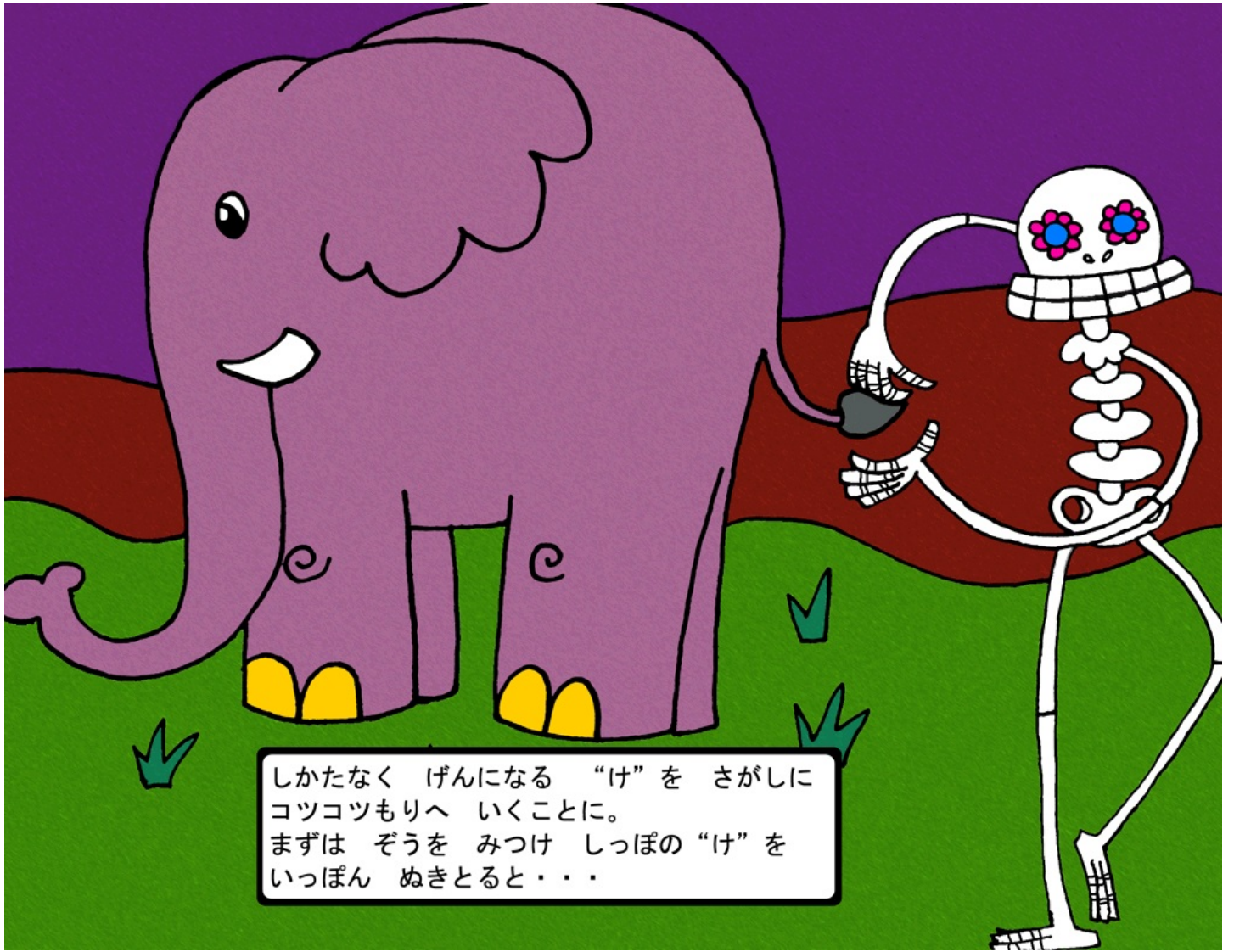


あまりに きもちのいい よる なので
しゃみせんを ひくことに。
ペンペンペン

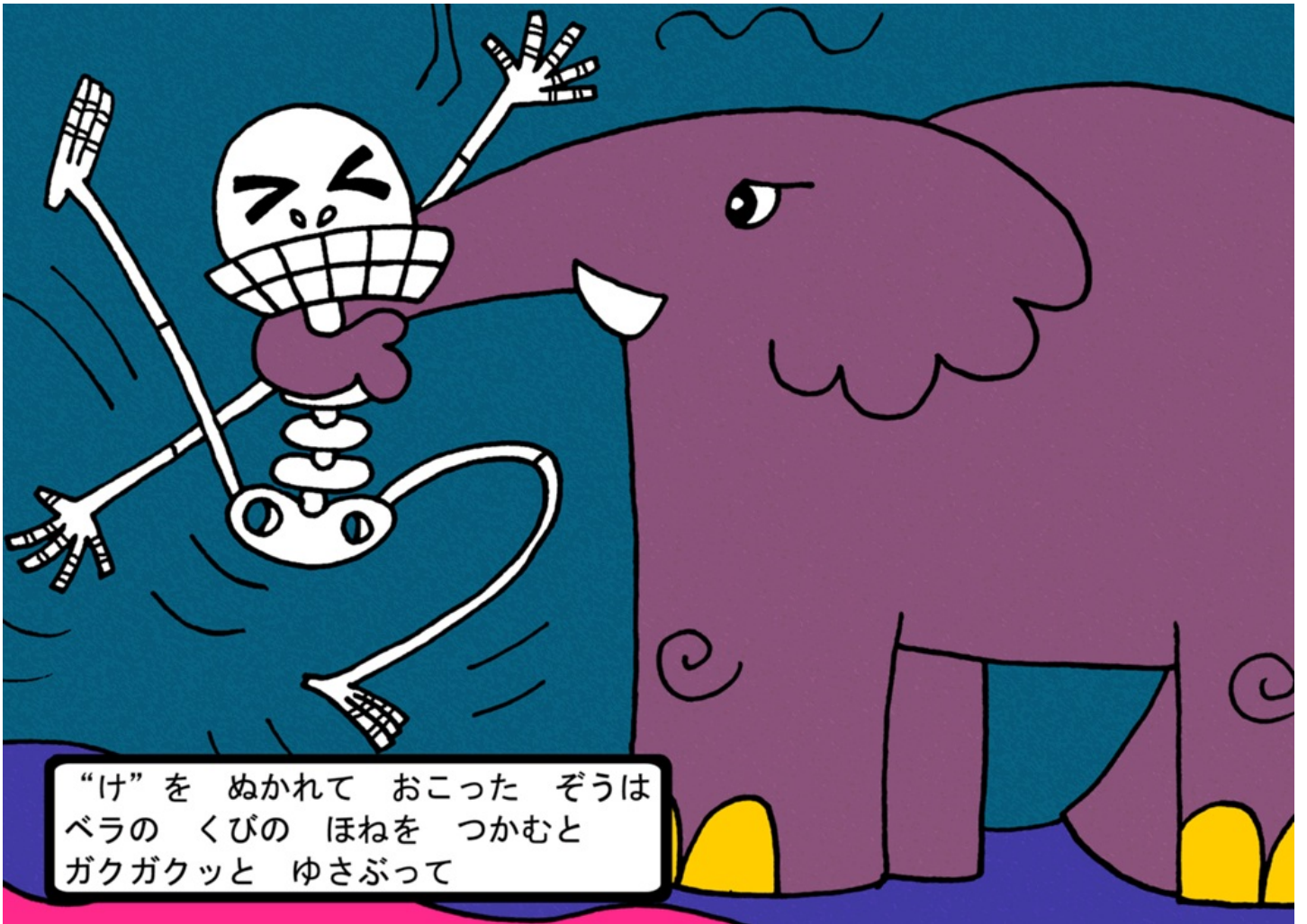




すると なんと!
げんが きれてしまい・・・
ぶちっ!



しかたなく げんになる “け” を さがしに
コツコツもりへ いくことに。
まずは ぞうを みつけ しっぽの “け” を
いっぽん ぬきとると・・・

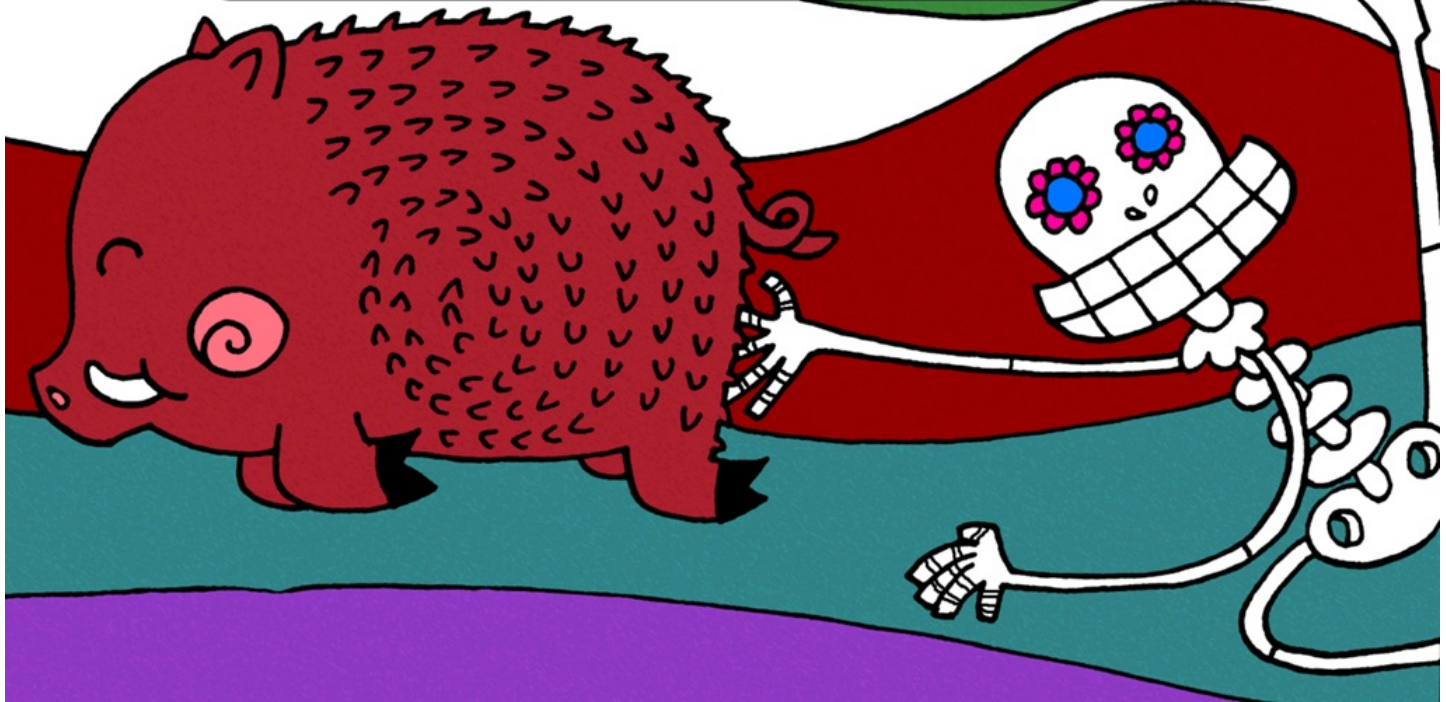


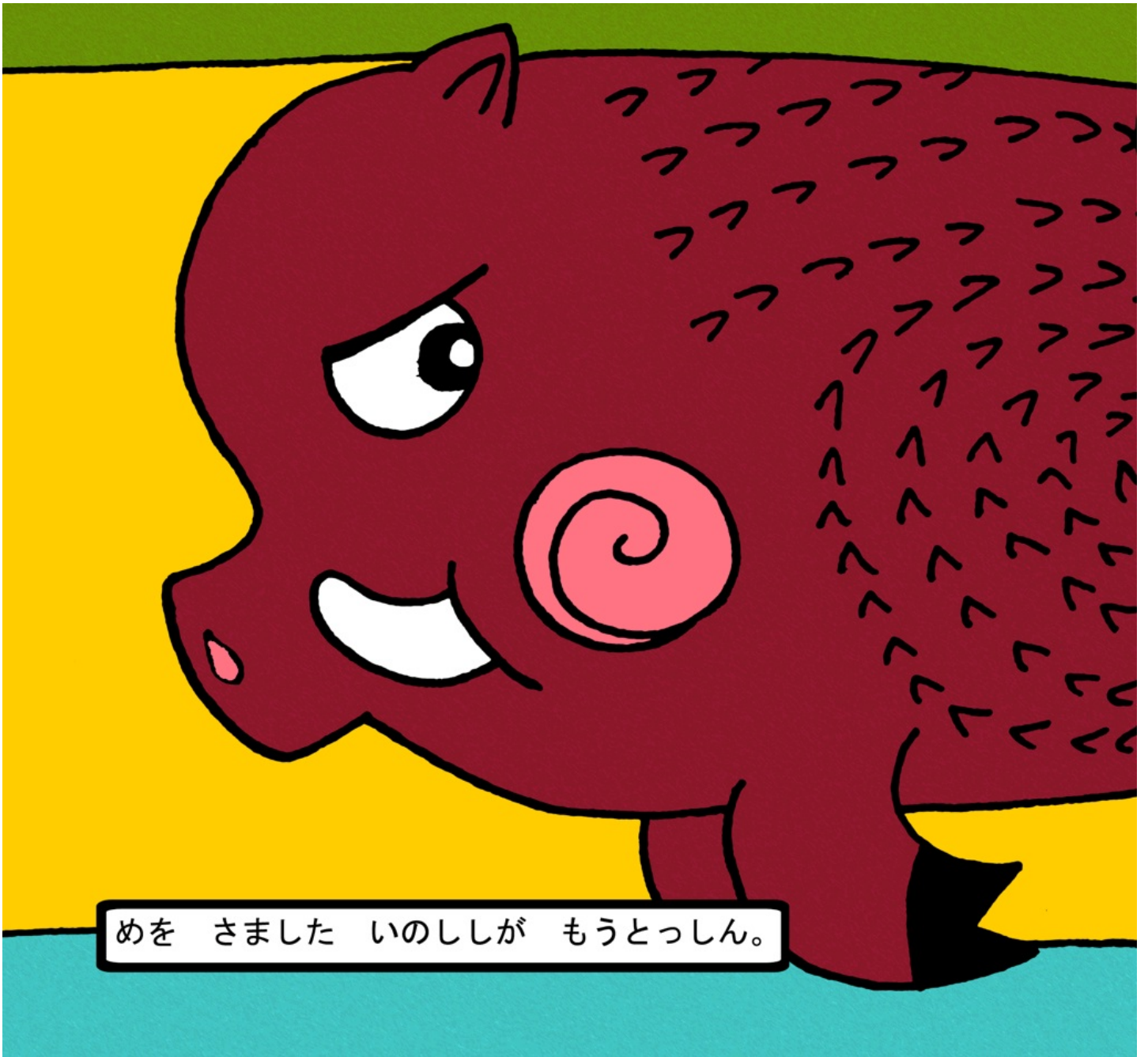
“け”をぬかれておこったぞうは
べらのくびのほねをつかむと
ガクガクッとゆさぶって



とおくへ ほうりなげた。「やっぱりね～」
けっきょく “け” は てに はいらず。

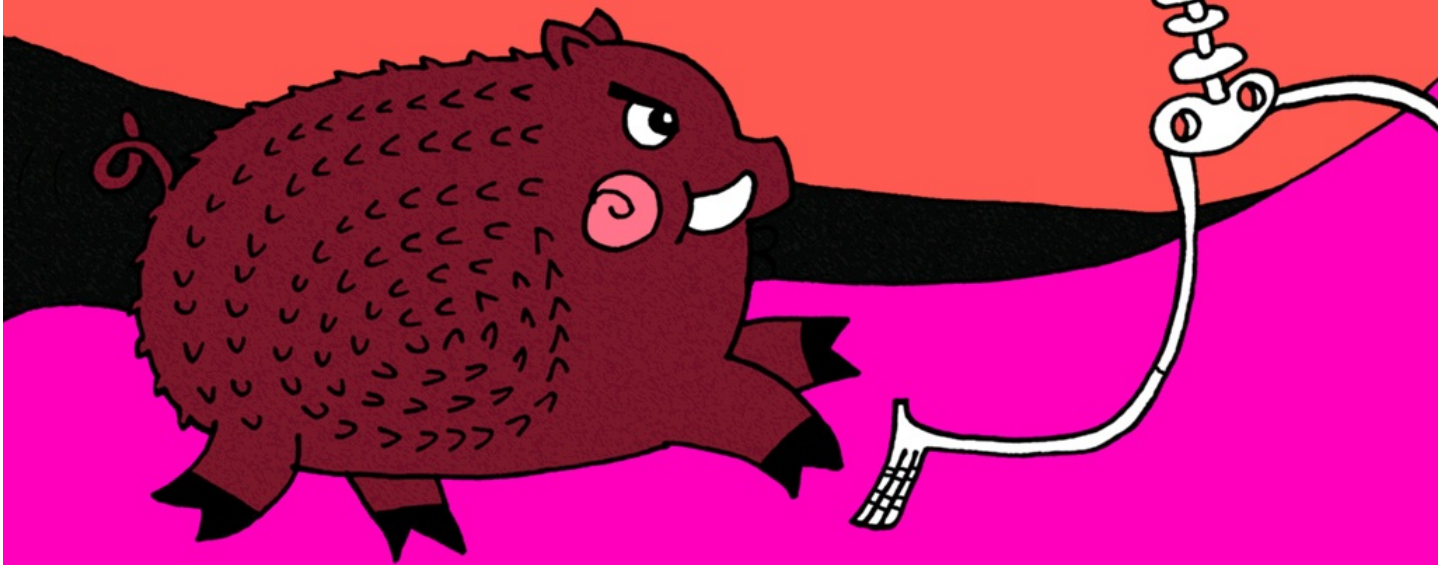
こんどは もうすこし ちいさい どうぶつが いいなと おもっていると・・・
ちょうど そこには いのししが ねむっていた。
そっと ちかづき いっぽん “け” を ぬきとると・・・





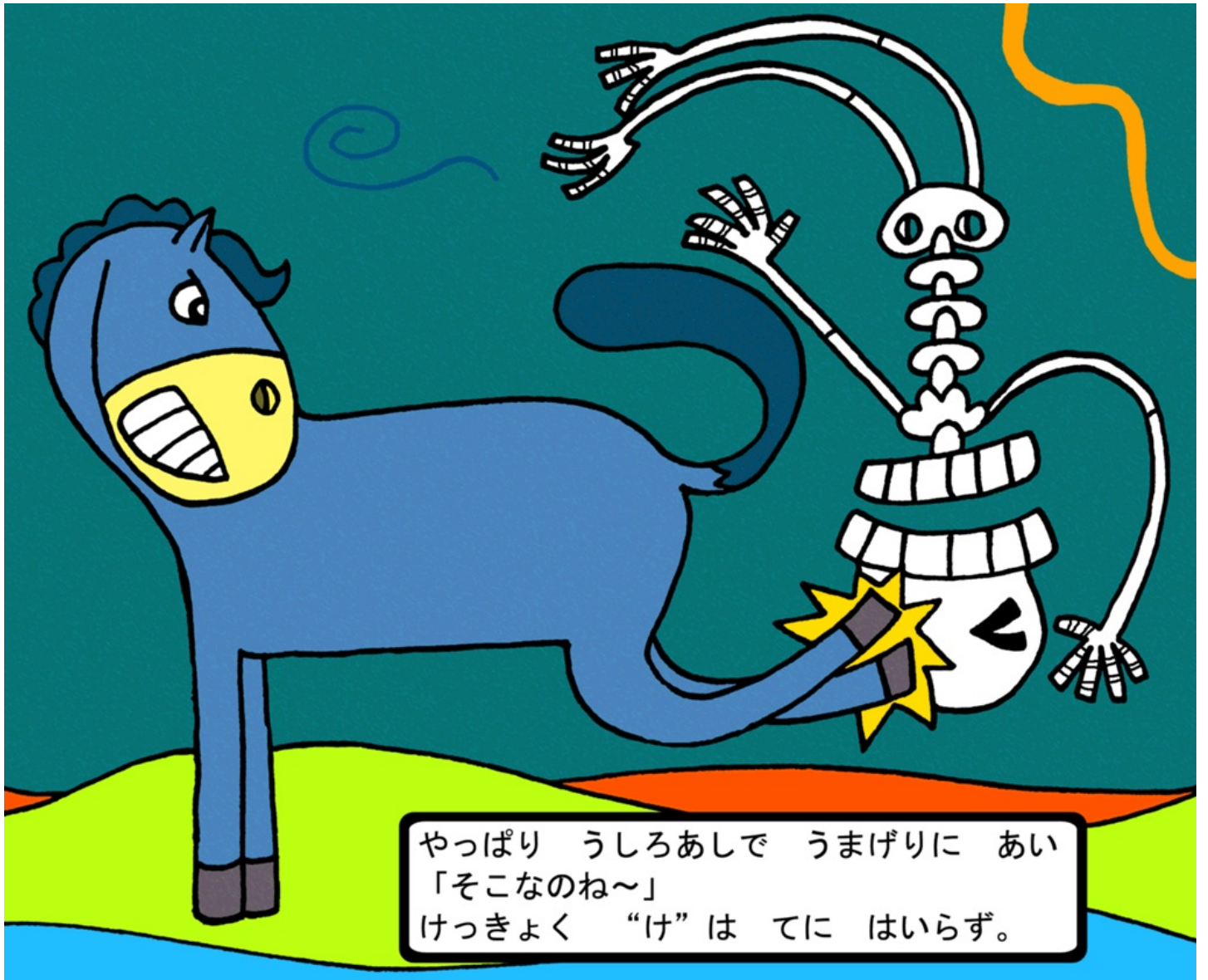
めを さました いのししが もうとっしん。

いのししに おいかけられ「またなのね~」
けっきょく “け” は てに はいらず。

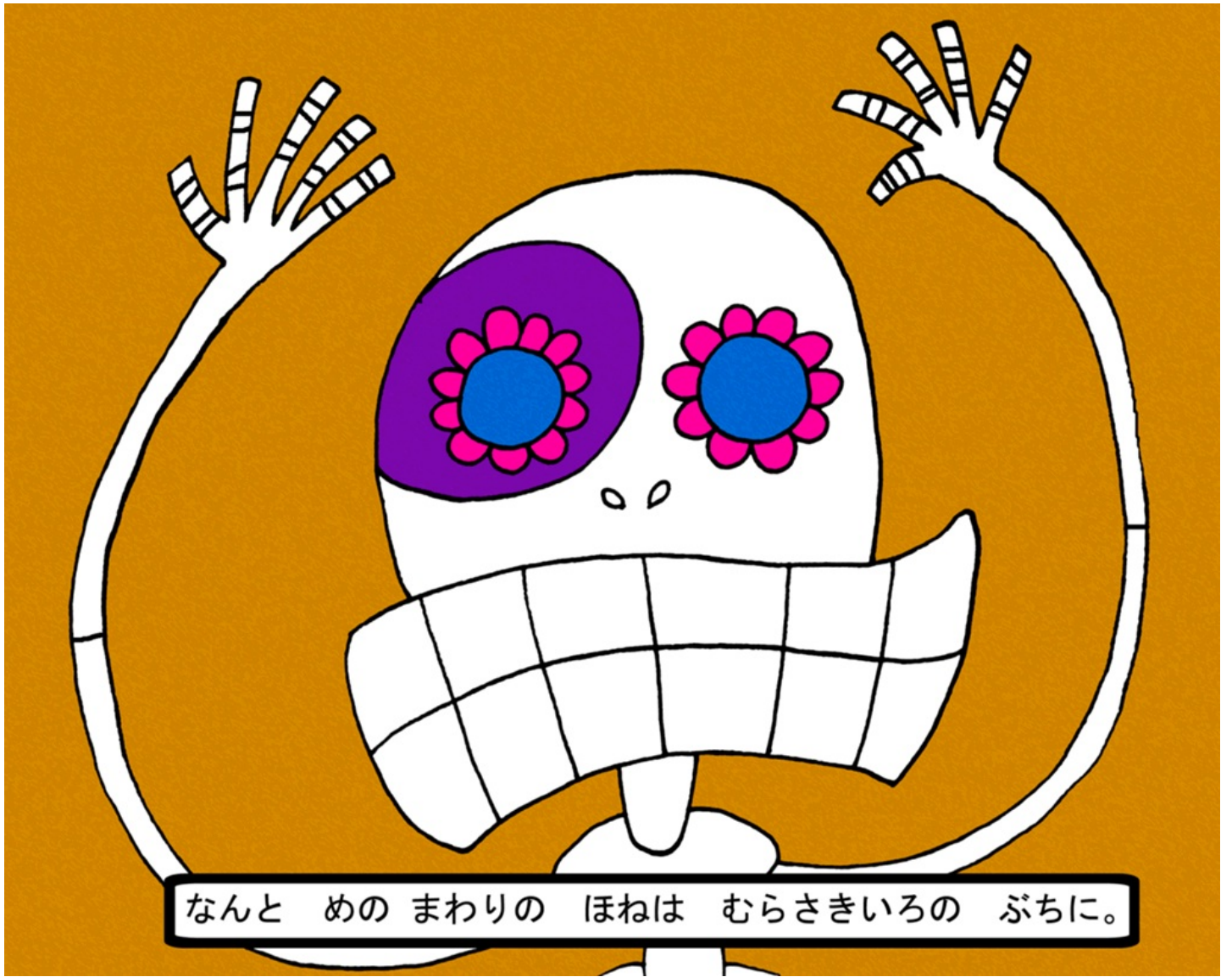




こんどは じゅんぴも ばんぜん
うまの しっぽから “け” を いっぽん ぬきとると・・・

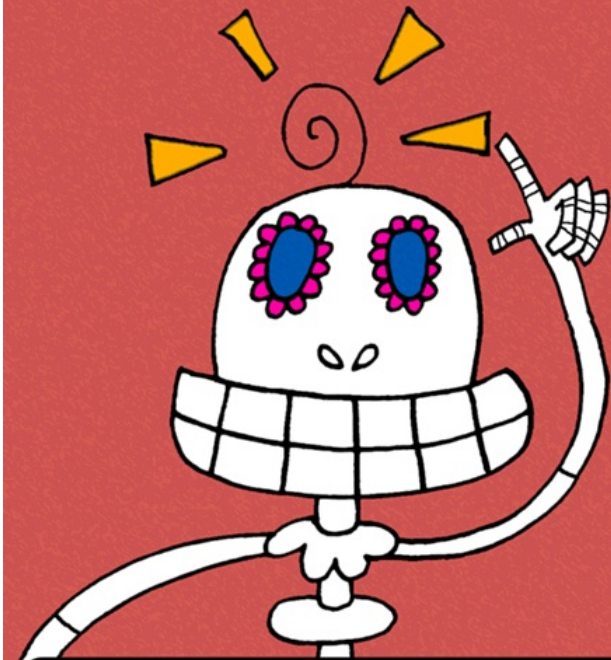


やっぱり うしろあしで うまげりに あい
「そこなのね～」
けっきょく “け” は てに はいらず。

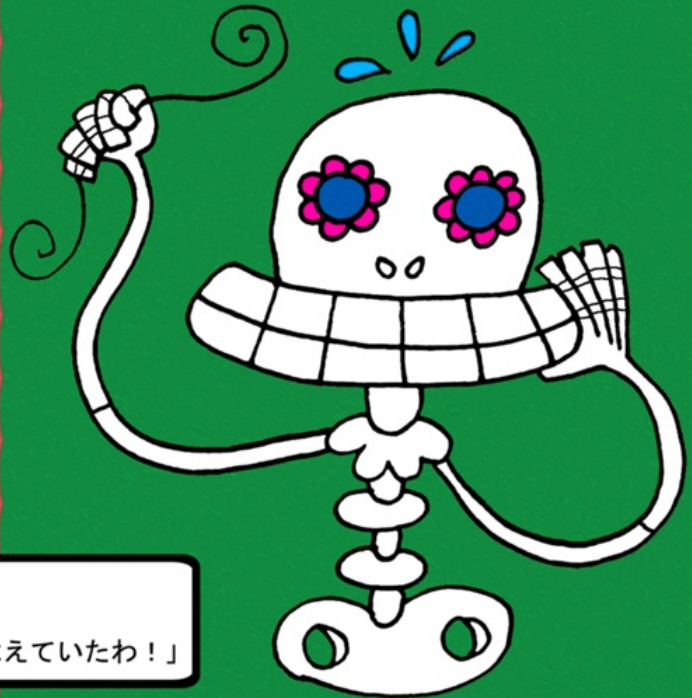


なんと めの まわりの ほねは むらさきいろの ぶちに。

いつもは みだしなみに そっていた
“け”が のびていることに きがついて
ぷちっ!



いたい おもいを たくさんした ベラ。
よく かんがえてみると・・・
「そういえば わたしも いっぽん “け”が はえていたわ！」



chicolele



こうして ベラは げんも そろった しゃみせんを
ひきながら たのしく うたって おどって
すごしたのです。